学校番号	1008

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	（学）総合木工	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

木工分野について、基礎技術･技法を学び、生活を豊かに演出する小型･中型の作品制作を行います。
素材に親しみ、創意工夫して創造的な表現の喜びを味わいましょう。
木工の伝統や文化について学び理解を深めるとともに、先人たちが長い歴史の中で創意工夫を重ねてきた技法のすばらしさ、創作に対する思いなどを感じ取りましょう。

2　学習の到達目標

木工の創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の木工や木工の文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって木工や木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に木工の創造活動に取り組み、生涯にわたり木工を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉らえる造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な木工の制作をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、自然や素材、自己の思いなどから心豊かに発想･構想している。 ・価値意識をもって木工や木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている。	・主体的に木工の創造活動に取り組み、生涯にわたり木工を愛好する心情を育んでいる。 ・感性を高め、生活や社会を心豊かにするために工夫している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	木工基礎	木工の基礎知識の学習 ・安全教育 ・木の種類と特徴 ・道具の種類と使用方法 ・技法の種類 小型の作品制作 (パズル・トレーなど) ・電動ドリル、電動糸鋸の使い方 ・研磨方法 ・塗装の種類と効果 鑑賞 振り返り	a: 素材の特徴や、創造的な木工の制作をするために必要な技能・技法について理解している。 意図に応じて制作方法を創意工夫している。 手順や技法を吟味し、創造的に表している。 b: ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、生活を豊かに演出する視点、自然や素材、自己の思いなどなどから心豊かに発想・構想している。 価値意識をもって木工や木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている。 c: 主体的に木工の創造活動に取り組み、生涯にわたり木工を愛好する心情を育んでいる。 感性を高め、生活や社会を心豊かにするために工夫している。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート ・作品
二学期	木工応用①	中型の作品制作 (椅子・棚など) ・製図と木材カット ・組み立てと仕上げ ・パネルソーの使い方 鑑賞 振り返り		・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート ・作品
	木工応用②	・自由制作 中型の作品制作と並行して行う 鑑賞 振り返り		・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート ・作品
三学期	木工発展	・小型の作品制作 (箱など) 鑑賞 振り返り		・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート ・作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度